

バイオ医薬品における知財戦略

~特許調査の手法/侵害訴訟事例と回避対策/米国の最新状況~

1名分料金で
2人目無料

日時: 2018年7月2日(月) 10:30 ~ 16:30

会場: 大阪産業創造館 5F 研修室A

受講料: 1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき47,250円

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,980円)

大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

[第1部] 10:30 ~ 14:45

バイオ医薬品特許および特許調査のポイント

講師: (株)Medical Patent Research
代表取締役社長 竹田 英樹 氏

【講演の趣旨】

バイオ医薬品の特許の特徴を理解した上で、特許調査をすることが重要である。バイオ医薬品の具体例を対象にその調査方法を丁寧に説明します。

【習得できる知識】バイオ医薬品特許の特徴と特徴を利用した特許調査の手法の概略が習得できます。最近注目されているバイオ関連特許の基本特許についても紹介し、それを踏まえた知財戦略についての考え方方が学習できます。

【プログラム】

1. バイオ医薬品の特許

- 1-1 バイオ医薬品に関する特許の特徴
- 1-2 遺伝子、タンパク質、抗体、核酸医薬の審査基準
- 1-3 バイオ医薬品の基本特許
 - ・抗体医薬
 - ・核酸医薬(アンチセンス・アブタマー・RNAi)
 - ・遺伝子編集
 - ・その他の技術

2. バイオ医薬品の特許調査

- 2-1 特許調査の目的
- 2-2 背景技術の理解
 - ・発明者等から一般技術検索
 - ・バイオ関連データベースの利用
 - ・蛋白質・遺伝子に基づく背景技術の理解
 - ・一般文献検索
- 2-3 検索キーの決定・調査・文献抽出
 - ・国際特許分類、FI、Fターム、CPC
 - ・技術用語検索
 - ・核酸・アミノ酸配列検索
- 2-4 判断・審査基準・判例の理解
- 2-5 先行バイオ医薬品の特許調査
- 2-6 特許権存続期間延長制度に基づく特許調査
- 2-7 先発権の調査
- 2-8 関連特許の調査

【質疑応答・名刺交換】

[第2部] 15:00 ~ 16:30

バイオ医薬品における侵害訴訟事例と回避対策

講師: 阿部国際総合法律事務所 所長 弁護士・ニューヨーク州弁護士
大阪大学大学院医学系研究科招聘教授 阿部 隆徳 氏

【講演の趣旨】低分子化合物の時代からバイオ医薬品の時代への移行に伴い、今後、バイオ医薬品に関する特許紛争が増加することが予想される。我が国においては、従前、バイオ医薬品に関する特許侵害訴訟は少なかったが、従前の裁判例を鳥瞰し、どのようなバイオ医薬品に関してどのような特許侵害訴訟が提起され、どのような判断がされたかをみると共に、特許侵害を回避するために行うべき方策について理解する。そして、バイオ医薬品とその特許侵害訴訟についての先進国である米国における最新の状況を知り、我が国における同種訴訟への示唆を得る。

【プログラム】

- 1.はじめに
- 2.日本
 - 2-1 バイオ医薬品に関する侵害訴訟
 - 2-1-1 大阪高判平成6年2月25日
(ヒト組織プラスミノーゲン活性化因子事件) (ジェネンテックv.東洋紡績)
 - 2-1-2 大阪高判平成8年3月29日
(組換ヒト組織プラスミノーゲン活性化因子特許均等論事件) (ジェネンテックv.住友製薬)
 - 2-1-3 東京高判平成9年7月17日 (インターフェロン特許事件) (ロッシュv.大塚製薬)
 - 2-1-4 東京高判平成13年1月31日 (酸性糖タンパク質事件) (雪印乳業v.麒麟麦酒)
 - 2-1-5 知財高判平成19年2月27日 (生理活性タンパク質の製造方法事件) (味の素v.中外製薬)
 - 2-1-6 大阪地判平成20年10月6日 (ケモカイン受容体事件) (ユーロスクリーンv.小野薬品)
 - 2-1-7 抗PD-1抗体特許係争 (小野薬品・ブリストル・マイヤーズ スクイブv.メルク)
 - 2-2 バイオシミラー訴訟
 - 2-2-1 ハーセブチンのバイオシミラー訴訟 (中外製薬v.日本化薬)
 - 2-2-2 リツキシマブのバイオシミラー訴訟 (ジェネンテックv.サンド・協和発酵キリン)
 - 2-3 測定法・試薬・装置に関する侵害訴訟
 - 2-3-1 最判平成11年7月16日 (生理活性物質測定法特許事件)
(日本臓器製薬v.フジモト・ダイアグノスティックス)
 - 2-3-2 知財高判平成18年1月25日 (核酸增幅反応モニター装置事件)
(ビーエーコーポレーションv.日本バイオ・ラッドラボラトリーズ)
 - 2-3-3 大阪地判平成18年4月13日 (抗原検出試薬事件)
(インバーネス・メディカル・スイツツアーランド・ゲゼルシヤフト・ミット・ベシュレンケル・ハフツングv.ミズホメディー)
 - 3.米国
 - 3-1 BPCIAによる規制
 - 3-2 パテントダンス
 - 3-3-1 アムジェンv.サンド事件最高裁判決
 - 4.最後に

【質疑応答・名刺交換】

『バイオ医薬品特許【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学		
住所	〒	
電話番号		FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) 案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて●
必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。
弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>